

# 足利風 -ashikaga-fu

2013  
6月号  
Vol. 26



## 足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

☆ ご案内 ☆

- \*特集！
- \*TOPICS
- \*私のボランティアことはじめ
- \*サークル紹介
- \*インフォメーション
- \*センターからのご案内

## \* 荒野の40年 \*

戦後40年の1985年、当時の西ドイツ・ヴァイツゼッカー大統領演説は世界の人々に大きな感銘を与えたものだった。「ことを言いつくろったり、一面的になったりすることなく、能うかぎり真実を直視し」、「人間は何をしかねないのかと、過去の歴史を、心に刻みつづけること」。そして、「過去に眼を閉ざす者は、結局、現在にも目を閉ざすことになる」・・という言葉は痛切な美しい感動を私たちに与える。「自由であった時、私は何をしたか？ 何をしなかったか？」と自問しつづけること。そして、「平和への愛とは、故郷を忘れず、まさに、そのためにこそ、いつも互いに、平和で暮らせるように全力をあげること」。

現在の価値観が多様化し、混沌とした時代であればこそ、これらの言葉は私たちの胸深くに沁み渡る。

40年前に発表されたローマ・クラブのレポート「成長の限界」は、人間が求める“成長”に対して、地球サイドには物理的な“限界”がある・・ということ、人類に向かって警鐘を鳴らしたもので衝撃的だった。そして、この東日本大震災である。現在(いま)を生きる私たちは、はかrazも、この日本において一直線に進めて来た効率優先の中央集権システムのアキレス腱を目の当たりに見ることになった。効率優先社会から、生活者の幸福価値創造社会へと舵を切ることが、真の日本再生・復興の道であることを肝に銘じる時代に遭遇した、と言える。弱い立場の者を切り捨てることが効率的なことではなく、弱い者も強い者も、おのおのが生きるべき価値を持っており、双方が共存・共生しながら新しい価値を創造していく社会が望まれる。まさに、多様性を尊重する社会である。私たち、混沌とした時代を生きる者はみな、果てしない荒野を歩んでいる、という自覚が必要なのかも知れない。 (M生)

## \* 郷土の偉人・田代義徳博士を知ろう展 \*

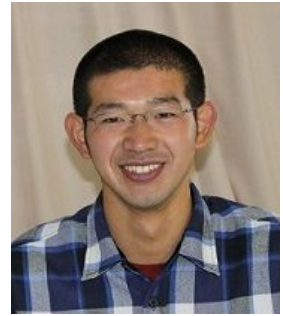
4月3日(水)午後、足利市民活動センターみんなの広場で開催中の「田代義徳博士を知ろう展」に合わせて、田代義徳博士顕彰会・田部井健二会長の講話が、数十名の参加者で熱気のうちに行われました。田代義徳博士は、幼名・田部井又助。元治元年(1864年)7月26日、足利市田中村(現・田中町)の農家に生まれました。15歳で小学校の教師を勤め、その後、もっと勉強をして、東京大学医学部を卒業し、日本初の整形外科教授として東京大学教授となりました。まさに、日本整形外科の礎を築いた人物と言えます。

金銭的に貧しい患者さんにも献身的な医療を施し、また、児童養護肢体不自由児施設の創立にも先駆的に貢献しました。昭和13年(1938年)逝去されましたが、昭和31年に田中橋南端に生誕処記念碑が建立されました。その人となりを知れば知るほど、また医学界への業績も大であり、郷土・足利の誇りであると、感動しました。顕彰会のみなさま、ありがとうございました。 (記・鈴木礼子)

## \*「ふるさと浪江と被災地ボランティア」\*

～嶋原 誠～

私がボランティアに行こうと思ったのは、実家が福島県浪江町ということもあり、東日本大震災直後に行こうと思っていました。しかし、浪江町は津波の被害も大きかったです。福島第一原発の隣町ということもあり、地震・津波の被害の無かった両親も避難しなければならなくなり、ボランティアに行くどころではありませんでした。



10月に両親が仮設住宅に入居することができ、11月に足利市民活動センターさんにお世話になり山元町にボランティアに参加したのが初めてでした。側溝の泥かき、イチゴハウスのお手伝いと初心者の中には、重労働でしたが、いい汗を流すことができました。南三陸ではホタテ養殖のお手伝い、地元の方への手伝いなどをし、少しずつ復興が進んでいることを実感することができました。

しかし、南相馬市小高地区でのボランティアでは、福島第一原発20キロ圏内ということもあり、去年4月まで立ち入りができなかったため、瓦礫は震災直後と変わっておらず、田畑は背丈以上に雑草が伸びていてショックを受けました。

地域によってボランティアの需要も違い、復興のスピードが違うことを実感しました。地域の浪江町は、立ち入りが出来ずボランティアは出来ませんが、まだまだボランティアが必要ですので参加したいと思います。

## \* NPO 法人「快活・生活支援センター」を立ち上げて \*

近頃の社会的ニュースになる問題は不安定な世の中であること、世の中の変革速度についていけない方々、特に高齢者や一人暮らしのお年寄りに関する問題が多くあるように感じます。孤独死や孤立死など枚挙にいとまがないとはこういうことを言うのでしょうか。残念でなりません。ほかに、最近はいわゆる若者が就職できない。孤立してしまっている。職場で協調性が維持できない。コミュニケーションが取れないといった話題を耳にします。これらは情報の氾濫で飲み込まれてしまい、自分という存在を見失っているからにほかなりません。何をしたらいいかもわからない、といった状況です。

こうした世相の中で、私たちは、本人が悩んでいる本質の問題を真摯に、専門家の立場で、経験者の一人として対応し、一緒に考えて具体的な指導をする、という考えで立ち上がりました。まずは行動です。不安になっている人にも行動していただき元気になって、街の活性化のお手伝いをしてもらうという考えです。不安があっては何もできません。精神的な支援や具体的な協力も惜しまず、街に明るさを取り戻すための活動を進めています。他の団体とも連携したいと思いますのでよろしくお願いします。

副理事長 菅沼 一三雄

## ① インフォメーション ①

### ☆ 新鮮なワカメを食べて被災地支援！

雄勝・立浜(宮城県石巻市)から美味しい採れたてのワカメが届きました。

3. 11で壊滅的な被害を受けた雄勝15浜の人たちは、2年を過ぎた現在でも仮設暮らしです。復興のシンボルと言われる雄勝法印神楽の復活から支援を続けてきた足利のみなさんへ感謝の心と一緒に届きました。

500円(300g)で、足利市民活動センターみんなの広場・東北被災地支援コーナーで頒布中です。

被災地の方々の生活再建のために“食べるボランティア”へのご協力をお願いします。



### ☆ がんばろう東北！現地報告会 part6 「被災地で生きる青年たち」

日 時：平成 25年 6月 29日(土) 午後 1時 30分 ～ 3時

会 場：足利市民活動センター

内 容：「被災地で生きる青年たち」

【講師】田中 潮さん(日本青年団協議会事務局長)

参 加 費：無料

※ 詳しくはチラシ・HP をご参照ください。

## \* センターからのご案内 \*

### ☆みんなの広場 ～ 6月・7月のご案内 ～

\* 日下部悲天俳句作品展(6月3日～13日)

\* イラスト展～蓮沼ヒロ子の世界～(6月17日～27日)

\* 藍紹座藍染展(7月1日～11日)

\* 東北被災地写真展～新井栄司の世界～(7月16日～25日)

\* 足利工業高校産業デザイン科作品展(7月29日～8月8日)

### ☆相談室&講座のご案内

\* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照

\* 講 座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

## 編集後記

初ガツオに生ビールがおいしい、若葉の季節です。

センターでは、被災地山元町から種をもらったヒマワリの芽が出ました。

黄色の大輪の花が楽しみです。(カサブランカ)

## “ 講座・相談室のご案内 ”

### 【 相談室 】

日付	相談テーマ	相談員
6/12(水)	新しい足利の歩き方	益本 仁さん (あしかがさぼ〜と会代表)
6/26(水)	初心者のための パソコン用語解説	宮師 保さん (ばそボラ・シニアネット代表)
7/10(水)	初めての ホームページの作り方	白田 明さん (プラン・ドゥ・アシスト代表)
7/24(水)	知っておきたい 相続・遺言セミナー	グループかたくり (佐野市行政書士有志)

時間 午後2時～午後4時

会場 足利市民活動センター（旧保健所） 2階 ワーキングルーム

### 【 講座 】

日時	講座名
6/20(木) 18:30～20:00	寄附税制の概要 講師：内閣府政策統括官付参事官（市民活動促進担当）
7/18(木) 19:00～21:00	足利の子ども支援・子育てを考える ファシリテーター：三田 和子さん（子ども支援ファシリテーター）

会場 足利市民活動センター（旧保健所） 2階 会議室

お問い合わせ・連絡先

〒326-0051 栃木県足利市大橋町1-2006-3 (☎0284-44-7311)

“ 企 画 展 の ご 案 内 ”

期間	企画展名	出展者
6/3(月) ~6/13(木)	日下部悲天 俳句作品展	日下部 悲天さん
6/17(月) ~6/27(木)	イラスト展	蓮沼 ヒロ子さん
7/1(月) ~7/11(木)	藍紹座藍染展	藍紹座
7/16(火) ~7/25(木)	東北被災地写真展	新井 栄司さん
7/29(月) ~8/8(木)	足利工業高校 産業デザイン科作品展	足利工業高校 産業デザイン科

展示会場 足利市民活動センター（旧保健所）3階 みんなの広場  
（足利市大橋町1丁目2006-3 ☎0284-44-7311）

展示時間 午前10時～午後7時

休館日 土・日・祝